

## 加茂荘花鳥園について

加茂荘花鳥園は長い歴史がある庭園兼ナーセリー（花き栽培園）で、浜松の東にある深い森に囲まれた山々を背景にしています。「加茂荘花鳥園」を大まかに説明すると「加茂家の私有地にある花と鳥の庭園」で、加茂家は 16 代にわたって、この地で暮らしています。

いちばんの呼び物は庭園の中央にある広大な花菖蒲園で、来園者が最も多いのは花菖蒲が満開になる 5 月と 6 月です。花菖蒲園のほか、蓮池、さまざまな色のアジサイも呼び物です。バードウォッチングも人気があり、庭園の周りではカモやインコを頻繁に見かけます。

加茂荘花鳥園は数百年前に建てられた当時の状態を保っている建物でも有名です。こうした建物は 2012 年の人気学園アニメ『氷菓』など、日本のいくつかのアニメシリーズのヒントになりました。

古い庄屋屋敷の見学、ナーセリーで開発された新種の花の観賞、バーベキューもできます。庭園にも温室にも、笹の葉でくるんだ米（粽）などさまざまな種類の昔ながらの軽食やデザートを出す食事処があります。庭園と建物は 1 年中開放されています。入場料は季節によって 1,000 円か 1,500 円で、高齢者は割引、小学生以下は無料になります。